学 校 教 育 目 標

調布市立緑ヶ丘小学校

校長鳥居

令和4年4月1日

校内通級教室拠点校 ミドリン教室 (平成30年度より新設)

○礼儀正しくきまりを守る子 ◎よく考え進んでやりぬく子 ○明るい心とじょうぶな体の子

「楽しく力のつく学校」をめざして



*短縄・大縄、ペースランニング、うごきたいむ、

*コロナ対応を踏まえた体力向上へ向けた実践等

○児童一人一人が生き生きと活動する学校 ○安全・安心な学校 ○地域や保護者に信頼される学校

学力向上 情操育成 体力向上 授業改善を通した児童の学力向上 子供の最大の教育環境は教師(大人) 家庭と連携した生活・運動習慣の確立 <学習指導要領に基づいた授業改善> <人権教育の推進> コロナ蔓延防止対策の充実 *カリキュラム・マネジメントの推進 *人権感覚の醸成 「人の心の痛みがわかる児童」 <生活習慣の確立> *偏見や差別等を許さない学校づくり 指導要領に基づいた行事等の見直し・精選 *早寝、早起き、朝ご飯の徹底(家庭との連携) *思考力・判断力・表現力等の育成 <道徳教育の充実> *家庭学習の推奨 タブレットの活用 *校内研究を通した授業改善 *考え議論する「特別の教科道徳」の実践 <体育授業の充実> *ICT の積極的な活用 *「いのちと心の教育月間」の充実 *運動量の確保 <個に応じた指導の充実> くいじめ撲滅> (体を動かすことの心地よさや楽しさ等) *習熟度別少人数指導(算数) *日常的な指導 *「思考・判断・表現」を適切に位置付けた体育 *グループ学習、ペア学習の充実 *いじめ防止アンケートの活用 学習の充実

- <主体的な学習態度の育成>
 - *問題解決学習、探究学習の実践・充実
- <体験的・直接的な学習の充実>
 - *地域の自然、文化、施設、人材を活用した学習
- <SDG s の日常化>
 - *SDGsの理解・17のターゲットの日常化

- <教育環境整備>
 - *言語環境(教職員が率先して行う)、挨拶、言葉遣い 「先言後礼」の実践
 - *規範意識をはぐくむ教室ルール
- *「全教職員が担任」の精神で児童に向き合う
- *ネガティブ情報ほど共有していく

地域との連携(特色ある教育活動)

- ○ふれあい給食や高齢者施設、福祉苑訪問などの体験的な活動
- ○カルタ、昔あそび等、日本の伝統・文化に触れる体験学習
- ○白百合女子大学との連携協力の促進

- ○インクルーシブ教育の充実
- ○幼・保・小の連携、小中連携の推進
- ○ICT の充実した活用に向けた指導内容・方法理解の推進

<運動の日常化>

ミドリンタイム等